



平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月9日

上場会社名 ライオン株式会社

上場取引所 東

コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 濱 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 鎌尾 義明

TEL 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年12月期第1四半期 | 92,217 | 3.1 | 6,788 | 17.1 | 7,171 | 17.0 | 4,773 | 25.7 |
| 28年12月期第1四半期 | 89,485 | 7.9 | 5,795 | 171.1 | 6,130 | 169.6 | 3,797 | 234.1 |

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 6,142百万円 (114.2%) 28年12月期第1四半期 2,867百万円 (3.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期第1四半期 | 16.43 | 16.41 |
| 28年12月期第1四半期 | 13.25 | 13.06 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年12月期第1四半期 | 279,905 | 161,886 | 54.6 |
| 28年12月期 | 298,510 | 157,879 | 50.0 |

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 152,862百万円 28年12月期 149,282百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年12月期 | | 5.00 | | 8.00 | 13.00 |
| 29年12月期 | | | | | |
| 29年12月期(予想) | | 7.00 | | 8.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|------|--------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 192,000 | 2.0 | 10,500 | 0.7 | 11,500 | 1.4 | 7,500 | 4.7 | 25.81 |
| 通期 | 405,000 | 2.4 | 27,000 | 10.2 | 28,000 | 6.5 | 17,000 | 6.6 | 58.50 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-----------|---------------|-----------|---------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年12月期1Q | 299,115,346 株 | 28年12月期 | 299,115,346 株 |
| 期末自己株式数 | 29年12月期1Q | 8,547,313 株 | 28年12月期 | 8,551,212 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 29年12月期1Q | 290,573,335 株 | 28年12月期1Q | 286,637,600 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 6 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 6 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 7 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 7 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 7 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 7 |
| (4) 追加情報 | 7 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 8 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 8 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の連結業績は、売上高92億2千7百万円（前年同期比3.1%増、為替変動の影響を除いた実質前年同期比3.6%増）、営業利益6億7千8百万円（前年同期比17.1%増）、経常利益7億1千7百万円（同17.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億7千3百万円（同25.7%増）となりました。

当社グループは、中期経営計画「V-2計画（^{ビジョン}Vision 2020 ^{パート}Part-2）」における4つの戦略テーマ「国内事業の質的成長」、「海外事業の量的成長」、「新しいビジネス価値の開発」、「組織学習能力の向上」にもとづく施策を推進しています。

国内事業では、歯刷子、制汗剤、柔軟剤等において新製品を導入するとともに、高付加価値品を中心に積極的なマーケティング施策により育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア、ビューティケア等のパーソナルケア分野を中心に、重点ブランドの育成を行い、事業規模の拡大を図りました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|------------------|--------|------|--------|------|-------|-------|
| 売上高 | 92,217 | | 89,485 | | 2,731 | 3.1% |
| 営業利益 | 6,788 | 7.4% | 5,795 | 6.5% | 993 | 17.1% |
| 経常利益 | 7,171 | 7.8% | 6,130 | 6.9% | 1,040 | 17.0% |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,773 | 5.2% | 3,797 | 4.2% | 975 | 25.7% |

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

| | 売上高 | | | | セグメント利益（営業利益） | | | |
|----------|---------|---------|-------|-------|---------------|--------|-------|--------|
| | 当第1四半期 | 前第1四半期 | 増減額 | 増減率 | 当第1四半期 | 前第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
| 一般用消費財事業 | 65,487 | 63,277 | 2,209 | 3.5% | 4,603 | 3,591 | 1,011 | 28.1% |
| 産業用品事業 | 12,761 | 13,183 | △422 | △3.2% | 616 | 644 | △27 | △4.3% |
| 海外事業 | 28,629 | 28,016 | 613 | 2.2% | 1,454 | 1,410 | 43 | 3.1% |
| その他 | 6,401 | 5,432 | 968 | 17.8% | 203 | 93 | 110 | 118.5% |
| 小計 | 113,279 | 109,910 | 3,369 | 3.1% | 6,877 | 5,740 | 1,137 | 19.8% |
| 調整額 | △21,062 | △20,424 | △638 | — | △89 | 54 | △144 | — |
| 合計 | 92,217 | 89,485 | 2,731 | 3.1% | 6,788 | 5,795 | 993 | 17.1% |

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」に分かれており、全体の売上高は、前年同期比3.5%の増加となりました。セグメント利益は、高付加価値品の伸長などにより前年同期比28.1%の増加となりました。

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|---------|--------|------|--------|------|-------|-------|
| 売上高 | 65,487 | | 63,277 | | 2,209 | 3.5% |
| セグメント利益 | 4,603 | 7.0% | 3,591 | 5.7% | 1,011 | 28.1% |

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では7,012百万円、前第1四半期では6,480百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 前第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
|------------|--------|--------|------|-------|
| オーラルケア分野 | 14,119 | 13,356 | 763 | 5.7% |
| ビューティケア分野 | 6,322 | 5,549 | 773 | 13.9% |
| ファブリックケア分野 | 18,201 | 17,439 | 762 | 4.4% |
| リビングケア分野 | 4,289 | 4,741 | △451 | △9.5% |
| 薬品分野 | 8,390 | 8,551 | △161 | △1.9% |
| その他の分野 | 14,162 | 13,639 | 523 | 3.8% |

(オーラルケア分野)

歯磨は、“0才からの予防歯科”の実践を訴求し、新たな香味を追加した「クリニカKid's^{キッズ} ジェルハミガキ」が順調に推移するとともに、「システムハグキプラス」シリーズが好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

歯刷牙は、コンパクトタイプを追加発売した「ビトイーン贅沢^{ケア}Care」が好調に推移するとともに、子どもの成長に合わせて、歯みがきの習慣化から永久歯の上手なケアまでをサポートする「クリニカKid's^{キッズ} ハブラシ」が3倍増となり、全体の売上は前年同期を上回りました。

口中剤は、「システムハグキプラス デンタルリンス」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

(ビューティケア分野)

昨年発売した「hadakara^{ハダカラ} ボディソープ」では、保湿とサラサラ感を両立した新製品を追加発売し、お客様のご好評をいただきました。

ハンドソープは、抗菌ポンプヘッドを新たに採用した「キレイキレイ薬用キッチン泡ハンドソープ」が好調に推移しましたが、「キレイキレイ薬用液体ハンドソープ」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

制汗剤は、ワキ汗をしっかり抑え、サラサラした使用感の新製品「Ban^{バン}汗ブロックスティック プレミアムラベル」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を上回りました。

(ファブリックケア分野)

洗濯用洗剤は、新開発の“プレミアム抗菌処方”で抗菌効果を向上させた超コンパクト液体洗剤「トップ^{ハイジア}HYGIA」が好調に推移しましたが、市場規模の縮小が続く粉末洗剤が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

柔軟剤は、衣類についた汗臭や体臭をしっかりと消臭する「香りとデオドラントのソフラン プレミアム消臭プラス」がお客様のご好評をいただくとともに、「ソフラン アロマリッチ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、食器洗い機専用洗剤「CHARMY^{チャーミー} クリスタ」が好調に推移しましたが、「CHARMY^{チャーミー} Magica^{マジカ}」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

住居用洗剤は、浴室用カビ防止剤「ルック おふろの防カビくん煙剤」が好調に推移しましたが、浴室用洗剤等が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

点眼剤は、市場規模が縮小したことに加え、「スマイル40」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

また、下着などの衣類やストレスなどによるかゆみや湿疹に効く治療薬「メソッド^{ダブリューオー} W0 クリーム」やシートタイプの治療薬「メソッド シート」を新発売し、お客様のご好評をいただきました。

(その他の分野)

通信販売商品は、「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」や「グッスミン 酵母のちから」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」やオーラルケア用品が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

＜産業用品事業＞

当事業は、タイヤの防着剤等を取り扱う「自動車分野」、2次電池向け導電性カーボン等の「電気・電子分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、グループ内取引の減少により前年同期比3.2%の減少となりました。セグメント利益は、前年同期比4.3%の減少となりました。

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|---------|--------|------|--------|------|------|-------|
| 売上高 | 12,761 | | 13,183 | | △422 | △3.2% |
| セグメント利益 | 616 | 4.8% | 644 | 4.9% | △27 | △4.3% |

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では5,386百万円、前第1四半期では5,944百万円となっております。

自動車分野では、タイヤの防着剤が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

電気・電子分野では、半導体搬送材料向け導電樹脂が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

業務用洗浄剤分野では、厨房向け消毒用アルコールが好調に推移するとともに、ハンドソープが堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、マレーシア等の東南アジア、韓国、中国等の北東アジアにおいて事業を展開しており、全体の売上高は、前年同期比2.2%の増加（為替変動の影響を除いた実質前年同期比4.2%の増加）となりました。セグメント利益は、前年同期比3.1%の増加となりました。

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|---------|--------|------|--------|------|-----|------|
| 売上高 | 28,629 | | 28,016 | | 613 | 2.2% |
| セグメント利益 | 1,454 | 5.1% | 1,410 | 5.0% | 43 | 3.1% |

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では2,905百万円、前第1四半期では3,121百万円となっております。

〔地域別売上状況〕

(単位：百万円)

| | 当第1四半期 | 前第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
|-------|--------|--------|-----|------|
| 東南アジア | 19,453 | 19,238 | 214 | 1.1% |
| 北東アジア | 9,176 | 8,777 | 398 | 4.5% |

(地域別の状況)

東南アジア全体の売上高は、前年同期比1.1%の増加となりました。

タイでは、「システム」歯磨や「植物物語」ボディソープが好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比4.5%の増加となりました。

韓国では、「キレイキレイ」ハンドソープや洗濯用洗剤の液体「ビート」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

また、中国では、「システム」歯刷牙が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

＜その他＞（建設請負事業等）

（単位：百万円）

| | 当第1四半期 | 売上比 | 前第1四半期 | 売上比 | 増減額 | 増減率 |
|---------|--------|------|--------|------|-----|--------|
| 売上高 | 6,401 | | 5,432 | | 968 | 17.8% |
| セグメント利益 | 203 | 3.2% | 93 | 1.7% | 110 | 118.5% |

（注）売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では5,757百万円、前第1四半期では4,877百万円となっております。

（2）財政状態に関する説明

当四半期における資産、負債および純資産の状況

（連結財政状態）

| | 当第1四半期 連結会計期間末 | 前連結会計年度末 | 増減 |
|-------------|-------------------|----------|---------|
| 総資産（百万円） | 279,905 | 298,510 | △18,604 |
| 純資産（百万円） | 161,886 | 157,879 | 4,007 |
| 自己資本比率※1（%） | 54.6 | 50.0 | 4.6 |

※1：自己資本比率は、（純資産－新株予約権－非支配株主持分）／総資産で計算しています。

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して186億4百万円減少し、2,799億5百万円となりました。純資産は、40億7百万円増加し、1,618億8千6百万円となり、自己資本比率は54.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月10日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については変更しておりません。

（当期業績予想値算出の前提条件）

主要な為替レートは、112円／米ドル、3.2円／パーツとしています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,879 | 26,017 |
| 受取手形及び売掛金 | 60,293 | 54,110 |
| 有価証券 | 61,007 | 35,165 |
| 商品及び製品 | 26,120 | 31,158 |
| 仕掛品 | 2,863 | 3,051 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,742 | 10,529 |
| その他 | 6,626 | 6,360 |
| 貸倒引当金 | △64 | △61 |
| 流動資産合計 | 185,469 | 166,332 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 74,402 | 74,245 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 1,658 | 965 |
| その他 | 1,164 | 1,256 |
| 無形固定資産合計 | 2,822 | 2,222 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 24,025 | 25,638 |
| その他 | 11,874 | 11,554 |
| 貸倒引当金 | △84 | △86 |
| 投資その他の資産合計 | 35,815 | 37,105 |
| 固定資産合計 | 113,040 | 113,573 |
| 資産合計 | 298,510 | 279,905 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 34,644 | 29,901 |
| 電子記録債務 | 16,302 | 14,250 |
| 短期借入金 | 4,244 | 4,251 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 260 | 269 |
| 未払金及び未払費用 | 51,979 | 38,886 |
| 未払法人税等 | 4,677 | 1,864 |
| 賞与引当金 | 3,792 | 2,370 |
| 返品調整引当金 | 382 | 381 |
| 販売促進引当金 | 2,974 | 3,696 |
| 役員賞与引当金 | 387 | 91 |
| その他 | 3,793 | 4,385 |
| 流動負債合計 | 123,440 | 100,348 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,690 | 1,753 |
| 役員退職慰労引当金 | 287 | 291 |
| 株式給付引当金 | - | 19 |
| 退職給付に係る負債 | 10,446 | 10,725 |
| 資産除去債務 | 337 | 336 |
| その他 | 4,428 | 4,543 |
| 固定負債合計 | 17,190 | 17,670 |
| 負債合計 | 140,630 | 118,019 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 34,433 | 34,433 |
| 資本剰余金 | 34,508 | 34,507 |
| 利益剰余金 | 82,479 | 84,928 |
| 自己株式 | △4,778 | △4,798 |
| 株主資本合計 | 146,642 | 149,070 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,429 | 8,457 |
| 繰延ヘッジ損益 | 12 | △9 |
| 為替換算調整勘定 | 445 | 481 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △5,246 | △5,138 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,640 | 3,791 |
| 新株予約権 | 218 | 218 |
| 非支配株主持分 | 8,377 | 8,805 |
| 純資産合計 | 157,879 | 161,886 |
| 負債純資産合計 | 298,510 | 279,905 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 89,485 | 92,217 |
| 売上原価 | 36,914 | 37,687 |
| 売上総利益 | 52,571 | 54,529 |
| 販売費及び一般管理費 | 46,776 | 47,741 |
| 営業利益 | 5,795 | 6,788 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 42 | 38 |
| 受取配当金 | 4 | 4 |
| 持分法による投資利益 | 251 | 251 |
| 受取ロイヤリティー | 52 | 64 |
| 為替差益 | 37 | - |
| その他 | 109 | 197 |
| 営業外収益合計 | 497 | 557 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 105 | 48 |
| 社債利息 | 5 | - |
| たな卸資産処分損 | 22 | 50 |
| 為替差損 | - | 29 |
| その他 | 27 | 44 |
| 営業外費用合計 | 161 | 173 |
| 経常利益 | 6,130 | 7,171 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | - | 30 |
| 特別利益合計 | - | 30 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 31 | 21 |
| 減損損失 | 3 | - |
| 特別損失合計 | 34 | 21 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,095 | 7,179 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,330 | 1,405 |
| 法人税等調整額 | 539 | 621 |
| 法人税等合計 | 1,869 | 2,026 |
| 四半期純利益 | 4,225 | 5,153 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 428 | 380 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 3,797 | 4,773 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 4,225 | 5,153 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △292 | 1,072 |
| 繰延ヘッジ損益 | △20 | △22 |
| 為替換算調整勘定 | △1,131 | △91 |
| 退職給付に係る調整額 | 128 | 107 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △42 | △77 |
| その他の包括利益合計 | △1,358 | 988 |
| 四半期包括利益 | 2,867 | 6,142 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,653 | 5,923 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 213 | 218 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書計上額 (注)3 |
|-----------------------------------|-------------|--------|--------|-------|---------|-------------|---------------------------|
| | 一般消費財 事業 | 産業用品事業 | 海外事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客への売上高 | 56,796 | 7,239 | 24,894 | 554 | 89,485 | — | 89,485 |
| (2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高 (注)1 | 6,480 | 5,944 | 3,121 | 4,877 | 20,424 | △20,424 | — |
| 計 | 63,277 | 13,183 | 28,016 | 5,432 | 109,910 | △20,424 | 89,485 |
| セグメント利益 | 3,591 | 644 | 1,410 | 93 | 5,740 | 54 | 5,795 |

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額54百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書計上額 (注)3 |
|-----------------------------------|-------------|--------|--------|-------|---------|-------------|---------------------------|
| | 一般消費財 事業 | 産業用品事業 | 海外事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客への売上高 | 58,474 | 7,374 | 25,724 | 643 | 92,217 | — | 92,217 |
| (2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高 (注)1 | 7,012 | 5,386 | 2,905 | 5,757 | 21,062 | △21,062 | — |
| 計 | 65,487 | 12,761 | 28,629 | 6,401 | 113,279 | △21,062 | 92,217 |
| セグメント利益 | 4,603 | 616 | 1,454 | 203 | 6,877 | △89 | 6,788 |

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△89百万円は、内部取引消去額等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。